

平成18年度丹沢主要登山道利用実態調査結果

倉野 修*・丹沢大山ボランティアネットワーク**

Person trip research on the main trails in the Tanzawa Mountains, 2006

Osamu KURANO* and Tanzawa Oyama Volunteer Network**

I はじめに

平成18年5月21日、6月4日に大山、塔ノ岳および蛭ヶ岳の3山頂で実施した登山道利用実態調査について報告する。

この調査は、丹沢大山総合調査地域再生調査による県民参加調査として実施した9山頂における登山道利用実態調査を引き継ぐものとして、今回から丹沢の緑を育む集い実行委員会の支援により丹沢大山ボランティアネットワークが県民共働調査として実施した。

II 調査方法

丹沢大山の主要な登山道の利用実態を把握するため、大山山頂へ通じる5路線、塔ノ岳山頂へ通じる5路線および蛭ヶ岳山頂へ通じる3路線を選定し、塔ノ岳については、金冷シにも調査点を設け、鍋割山方面と大倉方面の登山道利用実態についても調査した(図1)。

各山頂では登山道ごとに調査員を配置し、山頂へ向かう登山者を「上り」、山頂から降りる登山者を「下り」として、調査開始から終了までの1時間ごとの登山者数を記録した。

III 調査結果

山頂別の計測1日当りの上り登山者数は大山1,353人、塔ノ岳1,201人で、蛭ヶ岳90人の12倍以上となっている(表1~表3)。

登山道別の計測1日当りの上り下り登山者数をみると、大山⇄下社方面1,270人、塔ノ岳⇄大倉方面1,170人、大山⇄見晴台方面807人、塔ノ岳⇄新大日方面613人と、この4路線の利用がとりわけ多く、3山頂の上り下り登山者数合計の75.8%を占めている(表1~表4)。

今後も県民共働により調査を継続し、登山者数の推移を把握するとともに、登山道荒廃状況と登山者数の関連等からオーバーユース対策を検討するための基礎データを蓄積していく。

*神奈川県自然環境保全センター自然保護公園部自然保護課(〒243-0121 神奈川県厚木市七沢657)

**丹沢大山ボランティアネットワーク(〒243-0121 神奈川県厚木市七沢657内)

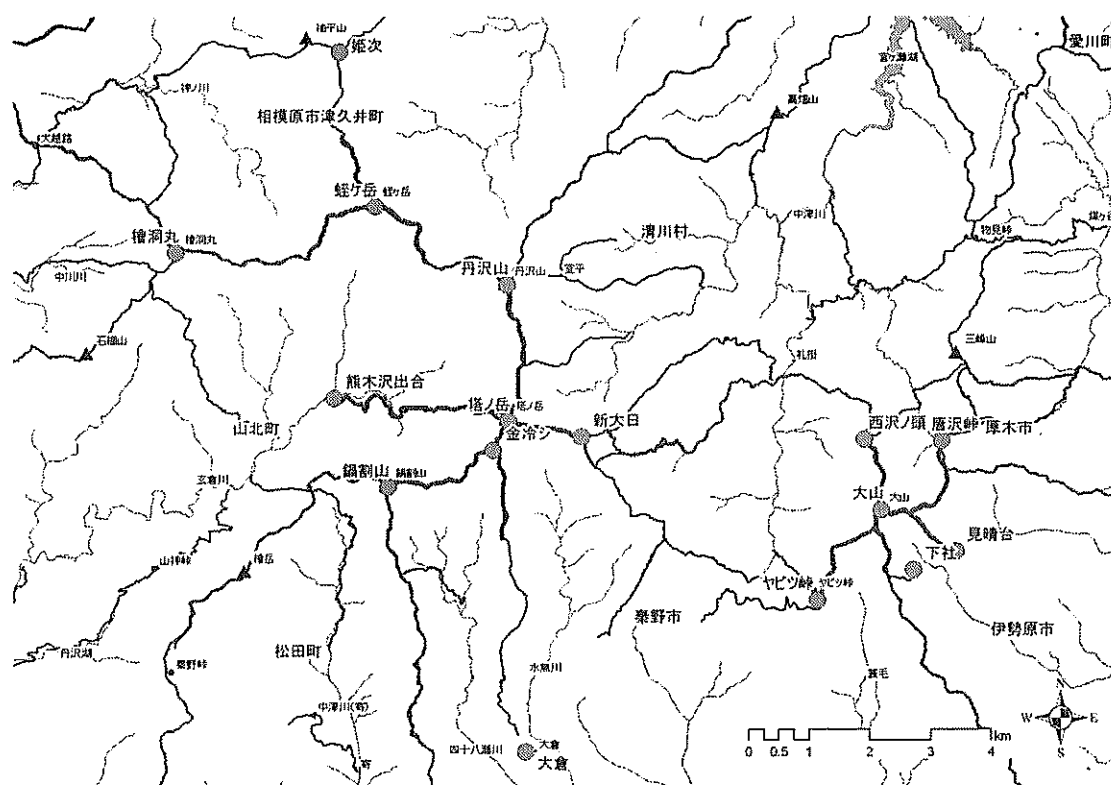


図1 調査山頂および登山道

表1 大山山頂登山道利用実態調査結果表

方面	西沢ノ頭	唐沢峠	見晴台	下社	ヤビツ峠	大山山頂計
上り人数	3	15	146	879	310	1,353
下り人数	23	37	661	391	160	1,272
計	26	52	807	1,270	470	2,625

注:2006年5月21日8:00～15:00調査実施

表2 塔ノ岳山頂登山道利用実態調査結果表

方面	丹沢山	新大目	大倉	鍋割山	熊木沢出合	塔ノ岳山頂計
上り人数	120	400	570	98	13	1,201
下り人数	126	213	600	144	17	1,100
計	246	613	1,170	242	30	2,301

注:2006年5月21日8:00～15:00調査実施

表3 蛭ヶ岳山頂登山道利用実態調査結果表

方面	姫次	丹沢山	檜洞丸	蛭ヶ岳山頂計
上り人数	29	53	8	90
下り人数	19	27	28	74
計	48	80	36	164

注:2006年6月4日7:00～15:00調査実施

表4 大倉尾根登山道利用実態調査結果表

方面	塔ノ岳	鍋割山	大倉尾根計
上り人数	570	27	597
下り人数	600	33	633
計	1,170	60	1,230

注:2006年5月21日8:00～15:00調査実施